

加須市魅力ある学校づくり基本計画（素案）

概要版

基本計画（素案）
の本編はこちら



1

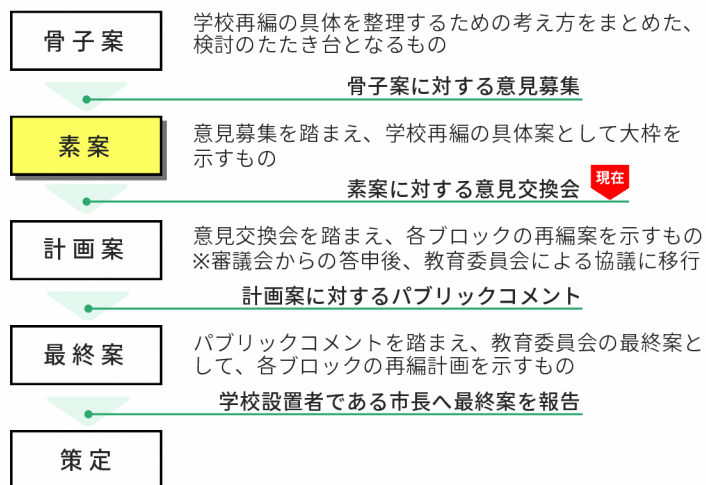
「基本計画」ってどんな計画なの？

▶ 本編 P1～2

魅力ある学校づくり基本計画は、令和7年度に策定した基本方針のもと、どの学校を、いつ、どのように再編を進めていくのかという道筋を示すもので、令和8年度中の策定を目指しています。

このたび、「加須市魅力ある学校づくり審議会」において議論を重ね、基本計画の素案をまとめました。

今後も、右の流れに沿って、様々な機会を通して寄せられた市民の皆さんの意見を広く取り入れながら計画づくりを進めていきます。



2

なぜ学校の再編を進めるの？

▶ 本編 P3～54

現状

22校ある小学校の半数は全ての学年が1クラスの単学級となり、そのうちの1校は2つの学年を1つの学級とする複式学級の編制となるなど、学校の小規模化が進んでいます。

本市が目指す学校教育の姿

魅力ある学校づくりを進めるに当たり、基本方針で掲げる「魅力ある学校像」は、「こども像」に示した資質や能力を育むための学びの場となる学校の姿を表し、本市が目指す学校教育の姿となるものです。

本市が目指す学校教育の姿



魅力ある学校像



こども像

学校再編の必要性

児童生徒は、学校という環境において、多様な人間関係の中で人と関わりながら学び、その学びを通して社会性を育てていきます。

このことから、全ての学校において一定の集団規模を確保し、こどもたちがより望ましい教育環境で学ぶことができるよう、持続可能な魅力ある学校づくりを具現化するために、学校の再編に取り組めます。

3

再編する学校や時期はどうやって決めるの？

▶ 本編 P55～56

どの学校を、いつ、どのように再編を進めていくのかといった学校再編の具体を整理するため、学校再編の優先順位の見える化を行います。

優先順位を見える化するための指標

基本方針で定めた「学校規模の方針」では、「望ましい学級数の目安」を目指しつつも、「少なくとも必要な学級数の目安」を重視し、今後20年を見据えた持続可能な学校規模を検討するとしています。

この考え方のもと優先順位を見える化するに当たり、「少なくとも必要な児童生徒数・望ましい児童生徒数の指標」と「優先順位の指標」を設定します。

少なくとも必要な児童生徒数・望ましい児童生徒数の指標

児童生徒アンケートや校長・教員アンケート等の調査結果を踏まえ、1学級当たりの児童生徒数の下限人数を「小学校20人、中学校30人」とします。

この下限人数に「学校規模の方針」で設定した学級数を乗じて求めた人数を、小・中学校それぞれの児童生徒数の指標とします（右表参照）。

少なくとも必要な児童生徒数の指標	小学校 120人以上（20人×6学級以上） 中学校 90人以上（30人×3学級以上）
望ましい児童生徒数の指標	小学校 240人以上（20人×12学級以上） 中学校 270人以上（30人×9学級以上）

優先順位の指標

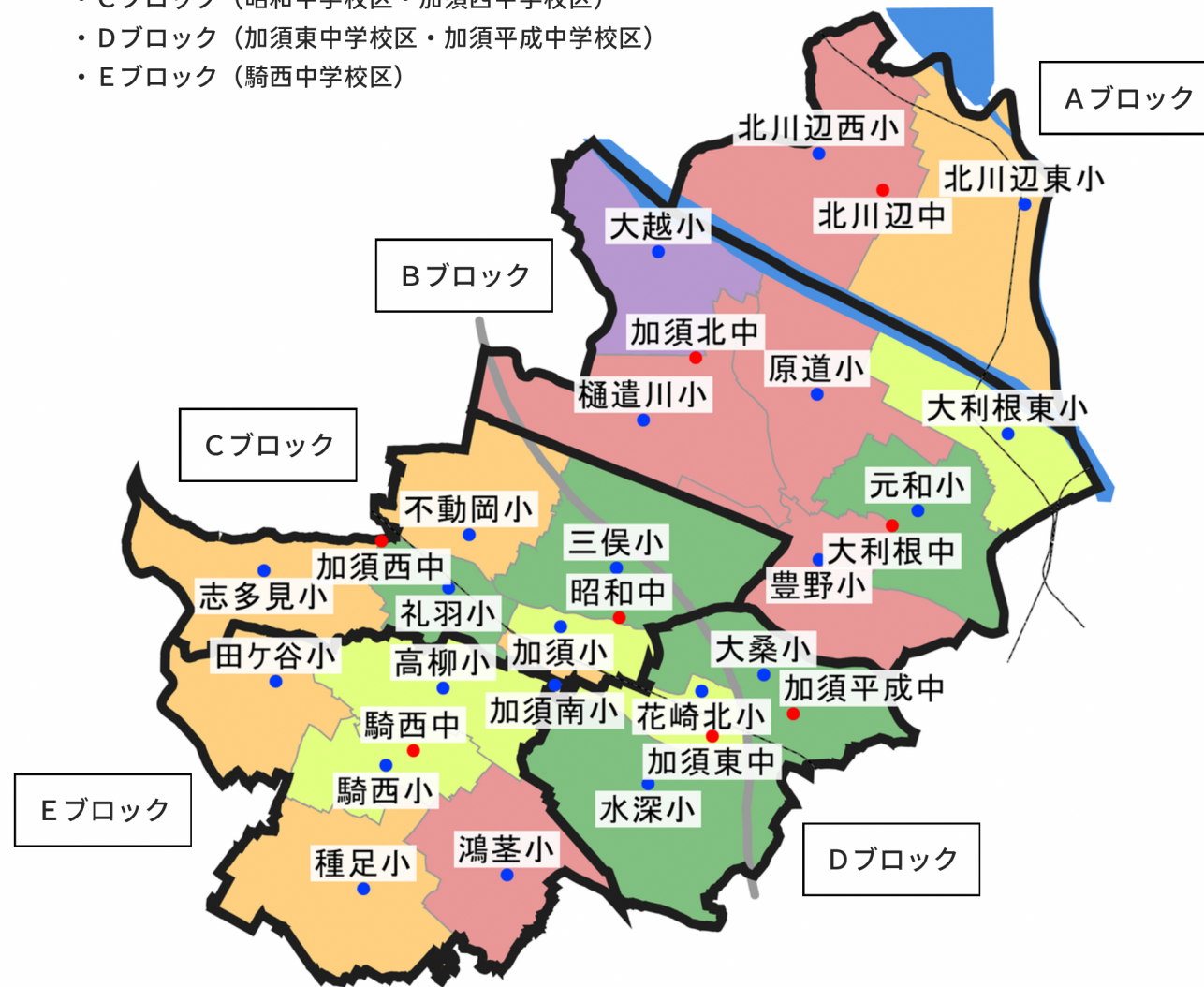
優先順位の指標は、複式学級の編制状況や少なくとも必要な児童生徒数・望ましい児童生徒数を基に以下のとおり、検討の優先度が高い順に5段階で設定します。

第1優先	既に複式学級の編制となっている学校 →早期に検討が必要な学校
第2優先	今後、複式学級の編制が見込まれる学校 現中学校区内の全ての小学校の優先順位が第2優先以上となる中学校 →今後、検討が必要な学校
第3優先	少なくとも必要な学級数(小学校6学級以上、中学校3学級以上)は維持するも、 少なくとも必要な児童生徒数を下回る学校 →児童生徒数の動向や保護者・地域の声を注視し、検討の必要性を見極める学校
第4優先	20年後も少なくとも必要な児童生徒数以上を維持する学校 →今後、小学校の全学年が単学級となり、児童生徒数の動向や保護者・地域の声を注視していく学校
第5優先	20年後も望ましい児童生徒数をほぼ維持する学校 →今後も望ましい児童生徒数の維持が見込まれる学校

学校再編の具体の整理に当たっては、学校の持続可能性といった観点から、学校単位（点）で捉えるのではなく、いくつかの学校区をまとめたブロック（面）で捉えることとしました。審議会での協議や意見募集の結果を踏まえ、再編案を検討するためのブロックは、市域を5つに分けた「5ブロック」とし、これを軸に再編案を検討します。

5 ブロック

- ・ Aブロック（北川辺中学校区）
- ・ Bブロック（加須北中学校区・大利根中学校区）
- ・ Cブロック（昭和中学校区・加須西中学校区）
- ・ Dブロック（加須東中学校区・加須平成中学校区）
- ・ Eブロック（騎西中学校区）



※ 上図の各小学校区の色は、「優先順位の指標」で設定した5段階の優先度を示しています。

※ ブロックの設定は、ブロックごとに学校再編の具体を整理するために行うものであり、同一のブロック内の学校を一つに再編することを前提としたものではありません。

再編案の検討は、以下のプロセスを経て行いました。

素案では、審議会におけるこれまでの審議や、7月に実施した意見募集の結果を踏まえ、ブロックごとの再編案をまとめています（[別紙](#)参照）。

① 再編に取り組むブロック別着手順位の設定

複式学級の解消・回避を図るため、第1順位のブロックから順次取り組みます。

② ブロックごとの再編案の検討

審議会での協議を重ね、その結果を中心に「各ブロックの再編案」をまとめています。

再編に取り組むブロック別着手順位

ブロック	学校	児童生徒数				学級数				優先順位	ブロック別着手順位		
		R7	R12	R17	R27	R7	R12	R17	R27		第1順位	第2順位	第3順位
A	北川辺西小	148	96	63	41	6	6	6	4	第2優先			
	北川辺東小	145	116	93	66	6	6	6	6	第3優先			
	北川辺中	209	149	94	62	6	6	4	3	第3優先		着手	
B	樋遣川小	85	68	50	44	6	6	5	4	第2優先			
	大越小	38	18	15	8	4	3	3	3	第1優先			
	大利根東小	213	188	158	152	7	8	6	6	第4優先			
	原道小	91	52	30	14	6	5	3	3	第2優先			
	豊野小	82	66	57	33	6	6	6	4	第2優先			
	元和小	321	441	350	308	13	16	12	12	第5優先			
	加須北中	85	58	41	28	3	3	3	3	第2優先			
C	大利根中	324	354	352	262	9	12	11	9	第5優先			
	加須小	367	296	235	172	12	12	12	6	第4優先			
	三俣小	510	467	403	374	16	17	13	12	第5優先			
	加須南小	152	88	63	57	6	6	6	6	第3優先			
	不動岡小	187	134	120	76	7	6	6	6	第3優先			
	礼羽小	290	258	243	231	12	11	12	12	第5優先			
	志多見小	95	91	75	60	6	6	6	6	第3優先			
	昭和中	592	520	412	340	15	17	13	12	第5優先			
	加須西中	323	298	229	204	10	9	8	6	第4優先			
D	大桑小	472	405	378	378	15	14	12	12	第5優先			
	水深小	639	698	606	533	20	23	18	18	第5優先			
	花崎北小	227	221	203	194	8	10	8	6	第4優先			
	加須東中	398	379	419	370	12	12	13	12	第5優先			
	加須平成中	309	287	257	211	9	10	9	8	第4優先			
E	騎西小	199	193	178	174	8	9	6	6	第4優先			
	田ヶ谷小	129	70	61	56	6	6	6	6	第3優先			
	種足小	118	76	63	49	6	6	6	6	第3優先			
	鴻茎小	84	57	56	47	6	5	6	5	第2優先			
	高柳小	228	211	152	146	11	10	6	6	第4優先			
	騎西中	415	412	308	248	11	14	11	9	第4優先			

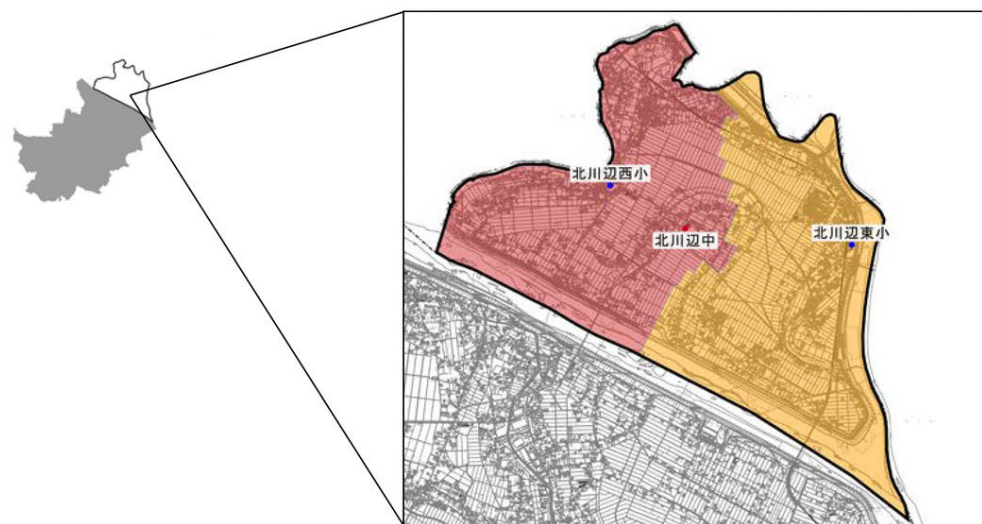
少なくとも必要な児童生徒数を下回る

複式学級の編制となる

check

基本計画（素案）の次のステップとなる基本計画（案）では、意見交換会の結果を踏まえ、各ブロックにおける望ましい再編案を示す予定です。





現状

- ・北川辺西小学校、北川辺東小学校、北川辺中学校は、ともに児童生徒数が減少し、「少なくとも必要な児童生徒数の指標」（小学校 120 人以上、中学校 90 人以上）を下回ることが見込まれます。
- ・特に、北川辺西小学校は、令和 22 年には 2 つの学年で 1 つの学級とする「複式学級」の編制となる見通しです。

○ 児童生徒数の推移

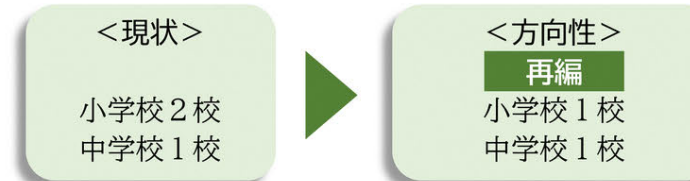
学校	R7		R12		R17		R22		R27	
	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数
北川辺西小学校	148	6	96	6	63	6	48	5	41	4
北川辺東小学校	145	6	116	6	93	6	75	6	66	6
北川辺中学校	209	6	149	6	94	4	76	3	62	3

○ 施設の状況

施設名	用地・施設面積(㎡)			保有教室数		施設の整備状況			
	校地面積	校舎等延床面積	屋内運動場等延床面積	普通教室	特別教室関係	校舎の代表建築年	経過年数	長寿命化改良工事等の履歴	
北川辺西小学校	19,750	4,224	883	8	12	H9	29	H21改築	
北川辺東小学校	17,874	3,621	1,049	8	13	H6	32	H22改築	
北川辺中学校	44,163	6,059	1,645	8	17	S58	43	R3複合化	

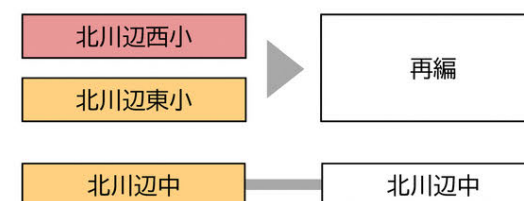
再編案

○ 検討の方向性

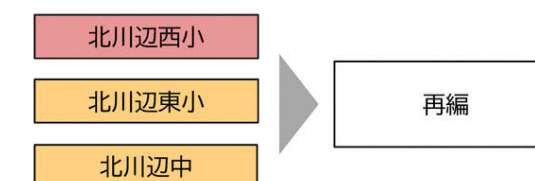


○ 再編パターンの例

＜パターン①＞ 小学校 1 校・中学校 1 校



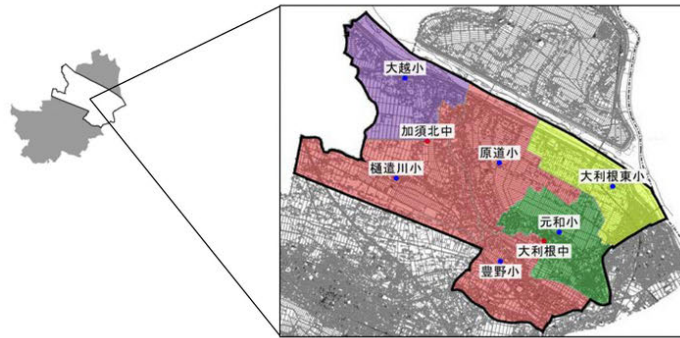
＜パターン②＞ 小中一貫教育の学校 1 校



Bブロックの再編案 ＜加須北中学校区・大利根中学校区＞

第1順位

別紙（Bブロック）



現状

- ・樋遣川小学校、大越小学校、原道小学校、豊野小学校、加須北中学校は、既に「少なくとも必要な児童生徒数の指標」（小学校 120 人以上、中学校 90 人以上）を下回っています。
- ・大越小学校では、すでに2つの学年で1つの学級とする「複式学級」を編制しており、樋遣川小学校、原道小学校、豊野小学校においても、児童数の減少により、将来的に「複式学級」の編制が見込まれます。

○ 児童生徒数の推移

学校	R7		R12		R17		R22		R27	
	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数
樋遣川小学校	85	6	68	6	50	5	45	4	44	4
大越小学校	38	4	18	3	15	3	10	3	8	3
大利根東小学校	213	7	188	8	158	6	158	6	152	6
原道小学校	91	6	52	5	30	3	18	3	14	3
豊野小学校	82	6	66	6	57	6	41	4	33	4
元和小学校	321	13	441	16	350	12	322	12	308	12
加須北中学校	85	3	58	3	41	3	35	3	28	3
大利根中学校	324	9	354	12	352	11	282	9	262	9

○ 施設の状況

施設名	用地・施設面積(㎡)			保有教室数		施設の整備状況			
	校地面積	校舎等延床面積	屋内運動場等延床面積	普通教室	特別教室関係	校舎の代表建築年	経過年数	長寿命化改良工事等の履歴	
樋遣川小学校	15,962	2,874	732	8	6	S51	50	H22大規模	
大越小学校	17,274	1,964	725	5	5	S54	47	H26大規模	
大利根東小学校	21,600	4,104	1,177	11	8	S52	49	H27大規模	
原道小学校	14,469	2,693	832	8	5	H元	37	—	
豊野小学校	22,714	2,882	803	7	5	S62	39	—	
元和小学校	20,068	4,998	895	15	9	H2	36	R6増築	
加須北中学校	30,736	2,986	755	5	10	S44	57	H20大規模	
大利根中学校	31,824	7,240	2,595	13	18	S60	41	H8改築	

再編案

○ 検討の方向性

<現状>

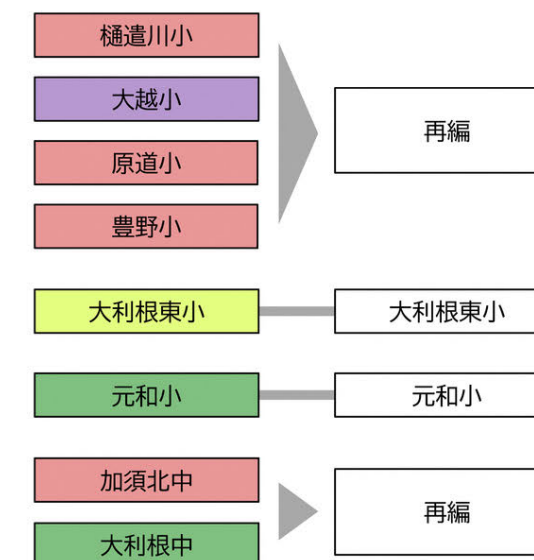
小学校 6校
中学校 2校

<方向性>
再編

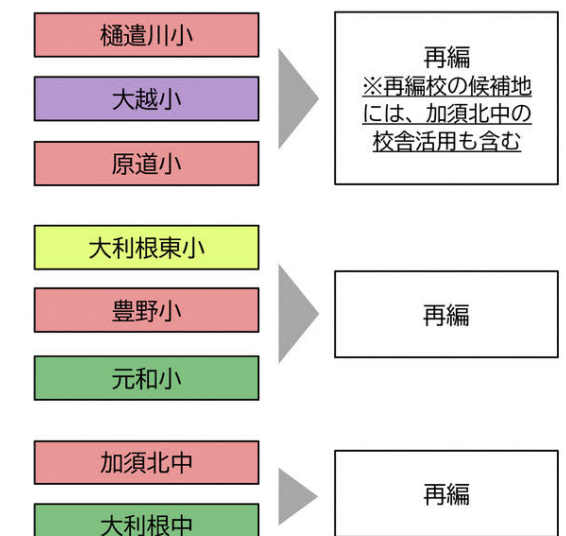
小学校 2校又は3校
中学校 1校又は2校

○ 再編パターンの例

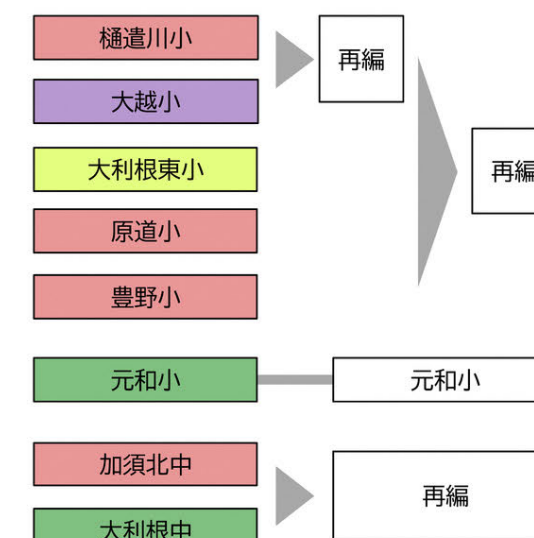
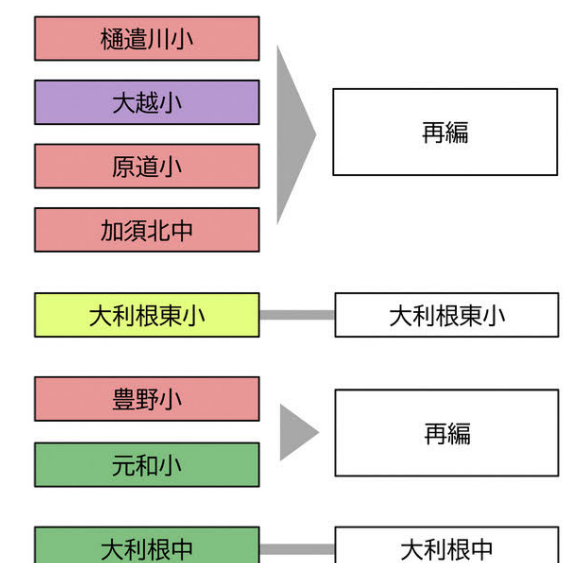
<パターン①> 小学校3校・中学校1校

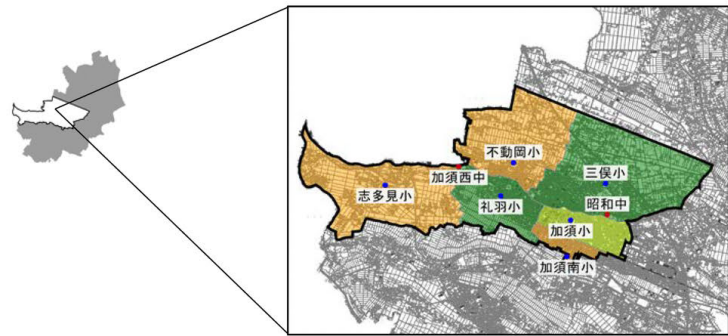


<パターン②> 小学校2校・中学校1校



<パターン③> 小学校2校・中学校1校

<パターン④> 小学校2校・中学校1校
小中一貫教育の学校1校



現状

- ・加須南小学校、不動岡小学校、志多見小学校は、ともに児童数が減少し、「少なくとも必要な児童生徒数の指標」（小学校 120 人以上、中学校 90 人以上）を下回ることが見込まれます。
- ・加須小学校は、少なくとも必要な児童数を維持するも、児童数の減少により令和 22 年には全学年が単学級になることが見込まれます。

児童生徒数の推移

学校	R7		R12		R17		R22		R27	
	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数
加須小学校	367	12	296	12	235	12	195	6	172	6
三俣小学校	510	16	467	17	403	13	387	12	374	12
加須南小学校	152	6	88	6	63	6	59	6	57	6
不動岡小学校	187	7	134	6	120	6	91	6	76	6
礼羽小学校	290	12	258	11	243	12	245	12	231	12
志多見小学校	95	6	91	6	75	6	61	6	60	6
昭和中学校	592	15	520	17	412	13	346	12	340	12
加須西中学校	323	10	298	9	229	8	210	8	204	6

施設の状況

施設名	用地・施設面積(㎡)			保有教室数		施設の整備状況			
	校地面積	校舎等延床面積	屋内運動場等延床面積	普通教室	特別教室関係	校舎の代表建築年	経過年数	長寿命化改良工事等の履歴	
加須小学校	20,716	6,082	1,043	17	13	S51	50	H23大規模	
三俣小学校	18,669	4,030	993	20	10	S46	55	H19大規模	
加須南小学校	26,289	5,326	931	8	8	H10	28	—	
不動岡小学校	17,650	2,778	732	10	5	S45	56	R4大規模	
礼羽小学校	15,685	3,966	730	15	8	S48	53	R7長寿命化	
志多見小学校	17,372	3,211	781	8	8	S61	40	—	
昭和中学校	26,011	7,246	1,731	21	17	S53	48	H29大規模	
加須西中学校	29,712	5,894	1,883	11	12	S57	44	R9長寿命化予定	

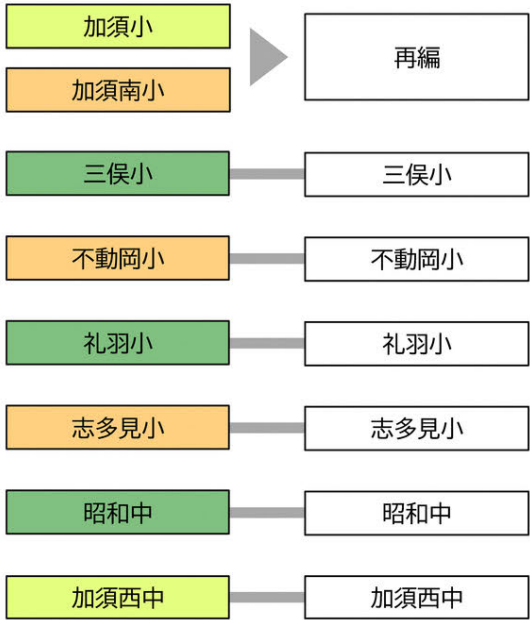
再編案

検討の方向性

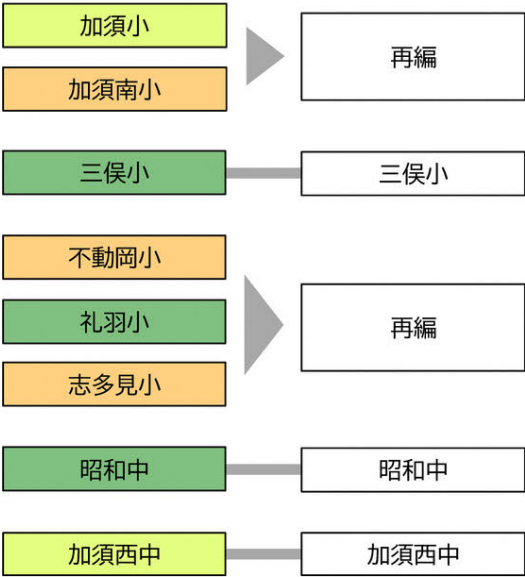


再編パターンの例

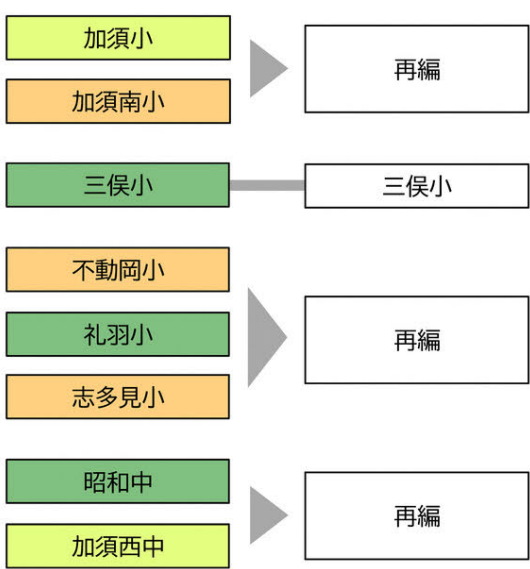
＜パターン①＞ 小学校5校・中学校2校



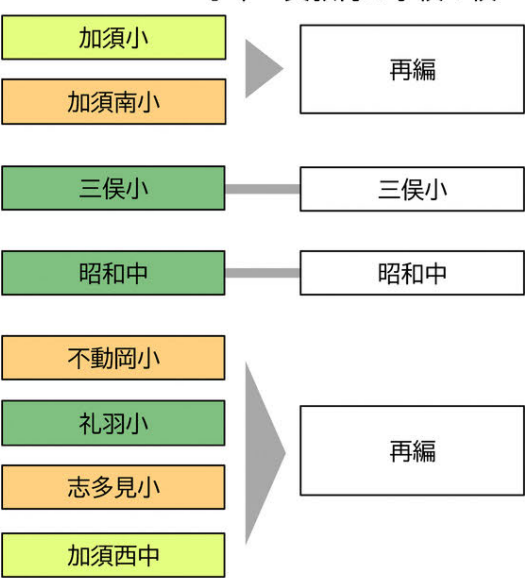
＜パターン②＞ 小学校3校・中学校2校

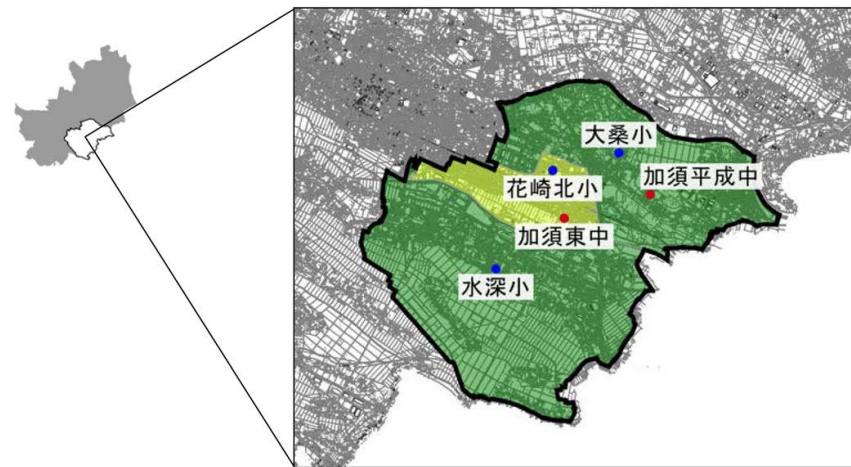


＜パターン③＞ 小学校3校・中学校1校



＜パターン④＞ 小学校2校・中学校1校
小中一貫教育の学校1校





現状

- ・ブロック内の全ての学校が、児童生徒数の大幅な減少はなく、現状の学校規模を概ね維持する見込みです。
- ・花崎北小学校は、少なくとも必要な児童数を維持するも、児童数の減少により令和22年には全学年が単学級になることが見込まれます。

○ 児童生徒数の推移

学校	R7		R12		R17		R22		R27	
	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数
大桑小学校	472	15	405	14	378	12	378	12	378	12
水深小学校	639	20	698	23	606	18	549	18	533	18
花崎北小学校	227	8	221	10	203	8	203	6	194	6
加須東中学校	398	12	379	12	419	13	355	12	370	12
加須平成中学校	309	9	287	10	257	9	213	9	211	8

○ 施設の状況

施設名	用地・施設面積(㎡)			保有教室数		施設の整備状況		
	校地面積	校舎等延床面積	屋内運動場等延床面積	普通教室	特別教室関係	校舎の代表建築年	経過年数	長寿命化改良工事等の履歴
大桑小学校	21,175	4,682	1,245	19	7	S54	47	H25大規模
水深小学校	20,666	4,868	1,253	26	7	S49	52	H17大規模
花崎北小学校	21,949	5,807	1,078	11	18	H4	34	—
加須東中学校	27,112	6,632	1,635	14	18	S62	39	—
加須平成中学校	28,675	6,330	1,379	13	15	H8	30	—

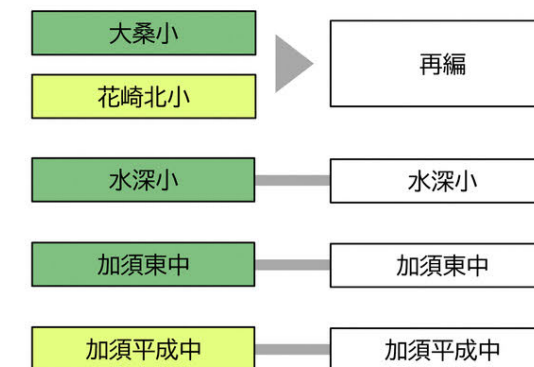
再編案

○ 検討の方向性

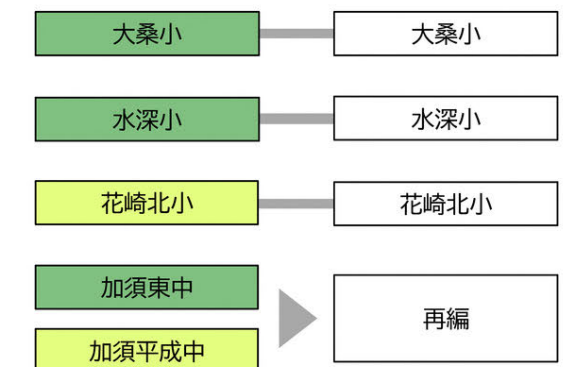


○ 再編パターンの例

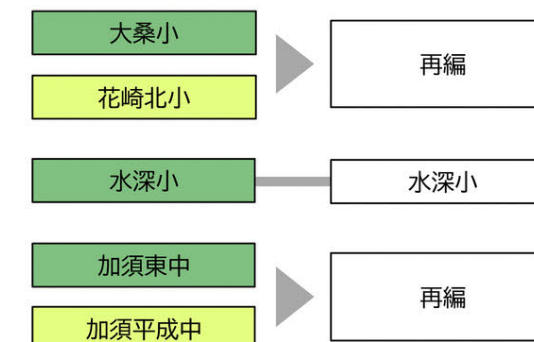
<パターン①> 小学校2校・中学校2校

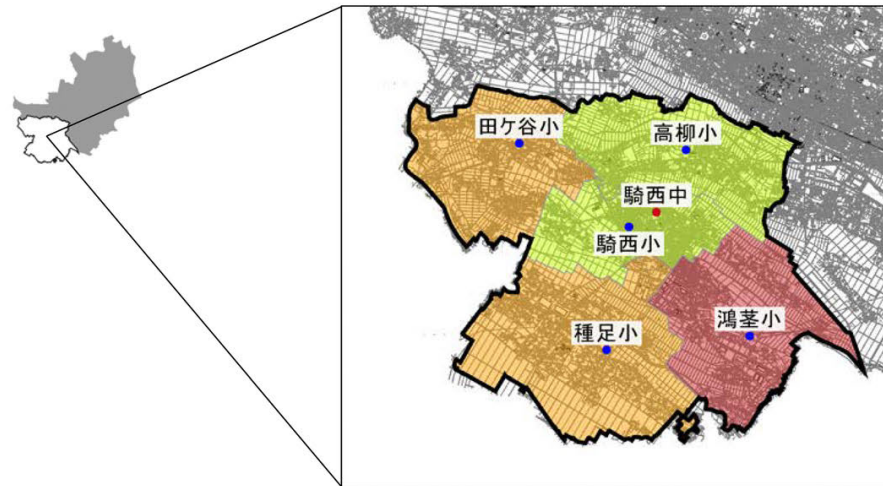


<パターン②> 小学校3校・中学校1校



<パターン③> 小学校2校・中学校1校





現状

- ・田ヶ谷小学校、種足小学校、鴻荃小学校は、既に「少なくとも必要な児童生徒数の指標」（小学校 120 人以上、中学校 90 人以上）を下回っており、中でも鴻荃小学校は、2 学年で 1 学級を編制する「複式学級」の編制が見込まれます。

○ 児童生徒数の推移

学校	R7		R12		R17		R22		R27	
	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数
騎西小学校	199	8	193	9	178	6	179	6	174	6
田ヶ谷小学校	129	6	70	6	61	6	55	6	56	6
種足小学校	118	6	76	6	63	6	50	6	49	6
鴻荃小学校	84	6	57	5	56	6	51	6	47	5
高柳小学校	228	11	211	10	152	6	151	6	146	6
騎西中学校	415	11	412	14	308	11	256	9	248	9

○ 施設の状況

施設名	用地・施設面積(㎡)			保有教室数		施設の整備状況			
	校地面積	校舎等延床面積	屋内運動場等延床面積	普通教室	特別教室関係	校舎の代表建築年	経過年数	長寿命化改良工事等の履歴	
騎西小学校	13,461	3,663	582	10	11	S54	47	H17大規模	
田ヶ谷小学校	15,156	2,737	583	9	5	S58	43	R2大規模	
種足小学校	15,902	3,664	602	8	10	S60	41	—	
鴻荃小学校	16,851	3,522	536	8	8	S57	44	H19大規模	
高柳小学校	17,983	3,453	536	13	5	S58	43	R8長寿命化	
騎西中学校	31,271	6,863	1,471	17	19	S52	49	H20大規模	

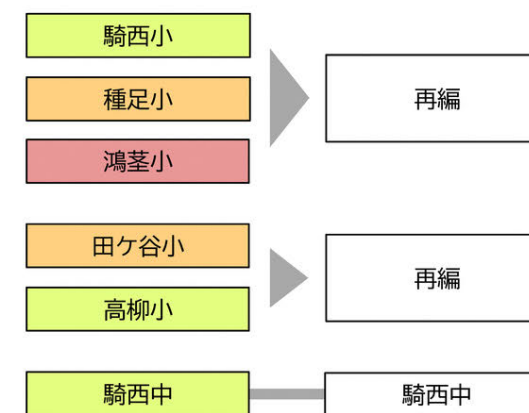
再編案

○ 検討の方向性

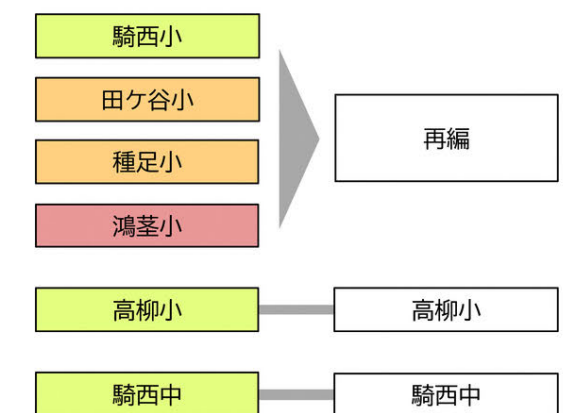


○ 再編パターンの例

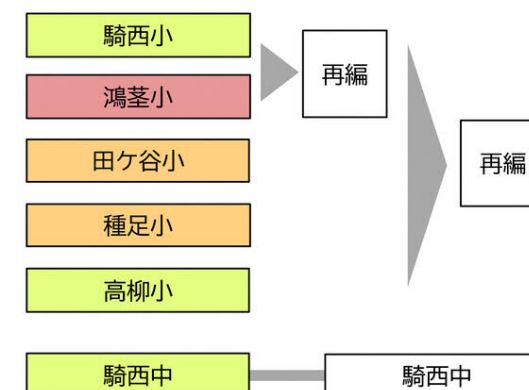
＜パターン①＞ 小学校 2 校・中学校 1 校



＜パターン②＞ 小学校 2 校・中学校 1 校



＜パターン③＞ 小学校 1 校・中学校 1 校



＜パターン④＞ 小学校 1 校・中学校 1 校

